

7つの重点的な取り組みの視点

1 仙台を磨き伝える

—世界に輝く杜の都の深化と継承

目指す状況 世界に誇る防災力を持ち、豊かな自然を生かした快適で品格のある都市環境の構築および都市ブランドの確立



▲世界防災フォーラム/防災ダボス会議@仙台2017(平成29年開催)

取り組み例 東日本大震災の教訓の継承・発信、自然・歴史資産の利活用と緑の保全、脱炭素社会の実現など

3 仙台で暮らす

—地域コミュニティの強化

目指す状況 人口減少・少子高齢化社会に向け、町内会をはじめ、NPOや企業、学校など多様な主体が「協働」で地域づくりに取り組むことで、顔の見える関係が広がり、誰もが安全・安心に暮らせる地域社会の形成

取り組み例 町内会やNPO等が活動を継続し、連携しやすい環境づくり、安全・安心で快適な居住環境の確保など

5 仙台で学ぶ・活かす

—学びの環境づくりとチャレンジ応援

目指す状況 多彩な学びを享受できる環境の充実とともに、大学などの教育機関や学生・児童生徒などが地域に関わり、さまざまな主体と共に学び合える環境が構築され、あらゆるライフステージにおいて学びを活躍につなげる、チャレンジを応援するまちの実現

取り組み例 地域づくりを実践する学びの場の創出など

7 躍動する仙台を創る

—都心再構築と交流都市づくり

目指す状況 東北の中核である仙台的都心において民間投資を呼び込む魅力的な都市機能を備えるとともに、国内外から人が交流を求め集う、にぎわいや活力あふれる楽しめるまちの実現



▲仙台・青葉まつり

取り組み例 にぎわい創出に資するビルの建設誘導、歩いて楽しめる都心づくり、交流人口ビジネスの活性化、東北の魅力の発信強化など

2 仙台でともに生きる

—多様性が生きるまちの実現

目指す状況 世代や性別、障害の有無、国籍にかかわらず、互いに相手をおもんばかる関係が構築され、また、多様な考えをより良いまちづくりのために生かし合える社会の形成

取り組み例 多様な主体間の交流、心と命を守る支え合いの基盤づくり、誰もが生きがいを感じ活躍できる環境の構築など

4 仙台で育つ

—子ども・子育て応援まちづくり

目指す状況 子どもたちとの関わりを通じて家庭、学校、地域などが相互に協力し、このまちで子どもを産んで良かった、育てることができて良かったと思える環境をつくり、子どもたちが安心して学び遊んで、心身ともにたくましく育つ地域社会の形成



▲のびすく宮城野

取り組み例 全市的な子育て支援ネットワークの構築、社会の変化に対応できる柔軟性を持った子どもの育成など

6 仙台で働く

—働く場所として選ばれる環境づくり

目指す状況 地元企業の経営力・魅力が向上し、働きがいやチャレンジのしやすさという観点で、働く場所として選ばれ、多様な人材の力が地域経済を活性化するまちの実現

取り組み例 地元企業の成長支援、イノベーションによる成長促進、若者の地元定着の促進、多様な働き方の実現など

市民まちづくりフォーラムにご参加ください!

●日時＝10月14日(祝)13:00～16:30 ●会場＝仙台国際センター展示棟 ●内容＝7つの視点に関するテーマごとにこれからのまちづくりの方向性を考えるワークショップを行います ●対象＝高校生以上120人(抽選) ●託児有り。詳しくはお問い合わせください
 申市役所本庁舎1階市民のへや、区役所総合案内、市民センターで配布するチラシに添付の参加希望票で、9月20日までに。市ホームページからも申し込みます

みんなの想いで描く、仙台の未来。

—新総合計画に関する全市民アンケートにご協力ください

新しい総合計画を策定しています

総合計画とは、本市が目指す都市の姿とその実現に向けた施策の方向性を示すまちづくりの指針となるもの。現在の計画は、令和2年度で計画期間を終えることから、令和3年度から12年度までの10年間を計画期間とする新たな総合計画作りに取り組んでいます。

策定に当たり、学識経験者や市民活動団体の代表者などで構成される「総合計画審議会」を平成30年10月に設置。これまで計6回にわたり議論を重ね、7月10日の審議会では、審議経過を取りまとめました。今後は2つの部会に分かれて、議論を進めていきます。

都市個性を生かしたまちづくりへ

本市には、伊達政宗公の時代からつながる歴史の中で培われてきた杜の都の都市環境、東日本大震災からの復興を通じて世界に発信

してきた防災力の高いまちづくり、多くの若者が集う学都としての機能集積、市民の力で築き上げてきた共生の理念、東北唯一の政令指定都市として持つ中枢機能など、誇るべき都市個性があります。また、市民協働によるまちづくりを進めてきた市民の力もかけがえのない財産と言えます。

審議会では、この都市個性を「環境」「共生」「学び」「活力」の4つで表現。市民協働の理念の下、4つの都市個性を相互に掛け合わせ、生かし合う。このことをまちづくりを進める上での価値観として市民と共有し、創意工夫と挑戦を重ねながら、仙台が仙台らしく輝ける「新たな杜の都」を目指すとしています。

皆さんの想いをお寄せください

これからのまちづくりには、市民の皆さんをはじめ、多様な主体による協働が不可欠です。審議会では、「新たな杜の都」の実現に向

全市民アンケートにご回答ください

16ページの綴じ込みはがきに回答を記入の上、9月30日までに投函してください。

市ホームページの専用フォームからも回答できます。



けて都市個性を生かしたまちづくりを進めるため「7つの重点的な取り組みの視点」(5ページ参照)をまとめました。今後、この視点を基に皆さんのご意見を伺いながら、さらに議論を深めていきます。7つの視点について、それぞれ現在の達成度や重要度、また未来に向けて力を入れるべきだと思う取り組みについて「全市民アンケート」を行います。いただいたご意見は、総合計画審議会へ報告します。皆さんの想いを集めて、仙台の未来を描いていきます。ぜひ、ご意見をお寄せください。



この特集に関する問い合わせは、政策企画課 ☎214・8475、FAX268・4311